

■本体仕様

	項目	仕様
基本性能	検出器	Insb(インジウムアンチモン)
	検出器冷却方式	スターリングクーラー方式
	測定波長	1.5~5.5μm
	測定温度範囲	-10~1700℃
	温度分解能	0.03℃以下 at 30℃ ※高速モード：0.02℃
	温度精度	±1℃（測定レンジ100℃以下） レンジフルスケールの±1%（測定レンジ100℃以上） *環境温度：23℃±10℃
	検出器画素数	1280(H)×1024(V)画素 MicroScanモード時：2560(H)×2048(V)画素
	測定視野角	14.6° (H)×11.7° (V)
	空間分解能	0.2mrad
	測定距離範囲	50cm ~ ∞
	フォーカス調整	マニュアル
	フレームレート	180 / 342 / 622 / 2,601 Hz 高速モード時 622/1053/1615/3343Hz
その他	データ深度	14bit、16bit@HDRモード
	カメラインターフェース	10Gig-E (Thunderbolt™) *
	トリガ	入力、出力、TTL オプション：トリガ拡張（入力2ch、出力2ch）
	AC電源	24VDC、AC100~240V
	消費電力	45W Typ.
	外形寸法 （単位：mm）	160(H)×123(W)×241(D) （突起部、レンズ、グリップ含まず）
	質量（レンズ含まず）	4.3kg（Typ.）
	動作環境温度/湿度	-20℃ ~ +50℃、95%RH（結露しないこと）
	保存環境温度/湿度	-40℃ ~ +70℃、95%RH（結露しないこと）

* Thunderboltの名称およびそのロゴは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標または登録商標です。

★記載の赤外線サーモグラフィ装置は外国為替および外国貿易法の規制により「リスト規制品」に該当します。日本国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可等、必要な手続きをお取りください。リスト規制品以外の製品は「キャッチオール規制対象品」となります。グループA（経済産業省輸出貿易管理令別表第3表参照）以外への輸出の場合には、（使途・販売先により）日本国の許可が必要となる場合があります。詳しくは弊社販売員へご相談下さい。●記載されている会社名及び商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。●カタログ中の画面はハメコミ合成です。●記載の仕様・デザイン・価格等は改善のため予告なく変更する場合があります。また、写真の色は印刷のため実際の商品の色と異なる場合があります。

 **日本アビオニクス株式会社**
<https://www.avio.co.jp/>

センシングソリューション事業部 営業部

— 本社 〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4475島村ビル
TEL 045-287-0303 FAX 045-287-0307

— 中部支店 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-17-6 ナカリ丸の内ビル
TEL 052-951-2926 FAX 052-971-1327

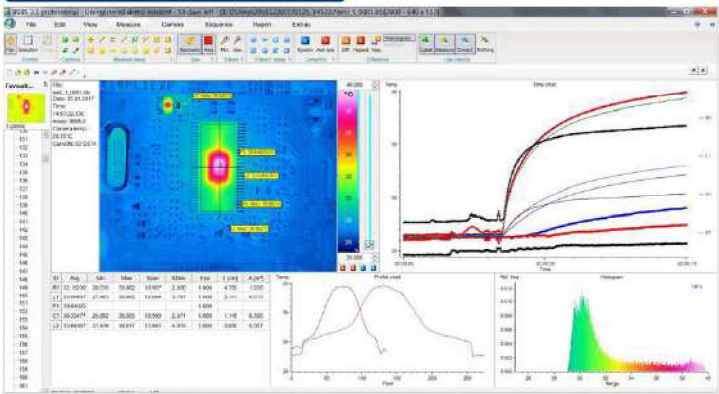
— 西日本支店 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島1-11-16新大阪CSPビル
TEL 06-6304-7361 FAX 06-6304-7363

— 福岡営業所 〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町2-24 〆ツクヤビル HAKATA606
TEL 092-686-1960 FAX 092-686-1961

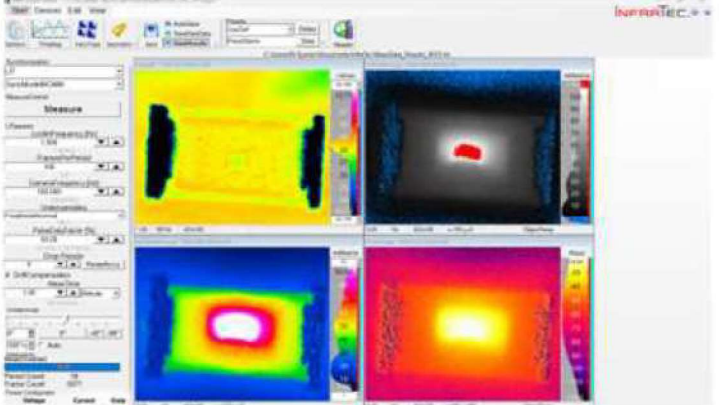
■オプション

項目	仕様
1.3μm顕微鏡レンズ	測定視野範囲：1.66mm(H)×1.33mm(V) ワーキングディスタンス：14mm 測定温度範囲：20℃~500℃
トリガ拡張	入力2ch、出力2ch
ロックインキット	トリガ拡張、ソフトウェア、 モジュールのセット
下向き架台	顕微鏡レンズ使用時
収録用PC	セットアップ済みPC
校正証明書	-
検査成績書（データ付き）	-

ソフトウェア画面イメージ ※ソフトウェアは標準付属



■IRBIS 3_active Online(ロックインキットに付属)
【実際のロックイン画面】



超高性能ハイエンドモデル 微小計測に最適なクラス最高スペック

赤外線サーモグラフィカメラ

InfReC H9300



安全に関するご注意

ご使用の際は、製品に添付されている取扱説明書の「警告・注意事項」をよくお読みの上、正しくお使いください。高温、多湿、水、ほこり、腐食性ガスの多い場所に設置しないでください。

お問い合わせ、ご用命は下記まで

極微小な温度を逃さない！

冷却型赤外線検出素子「InSb（インジウムアンチモン）」搭載

超高性能ハイエンドモデル 赤外線サーモグラフィ

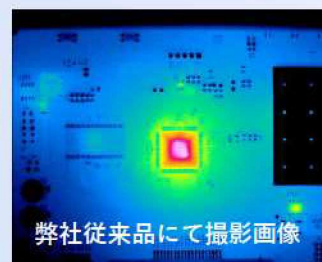
InfReC H9300



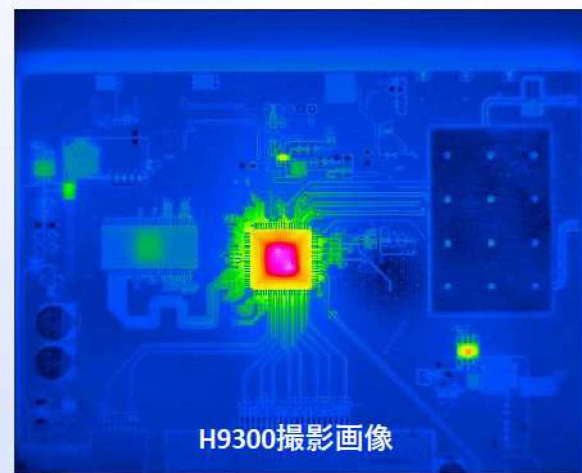
極細部まで鮮明に映し出す高解像度

超高解像度により
わずかな異常温度や温度ムラを
見逃さない

一般的なサーモグラフィではとらえきれない
高密度な実装基板の細微な配線まで 鮮明に
撮ることが可能なため、極微小な温度変化の
解析などに最適



640×480画素



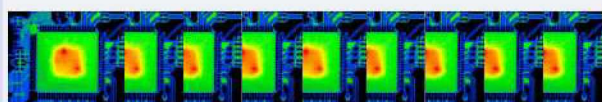
最高クラスの解像 1280×1024画素

高速熱反応を撮りこぼさない

高周波スイッチング技術や小型部品の高速な熱反応の取得が
可能になり、品質向上に有用

フルフレーム	180Hz
ウィンドウイング※	342Hz / 622Hz / 2,601Hz
高速モード※	622Hz / 1,053Hz / 1615Hz / 2,601Hz

※画素数に制限あり

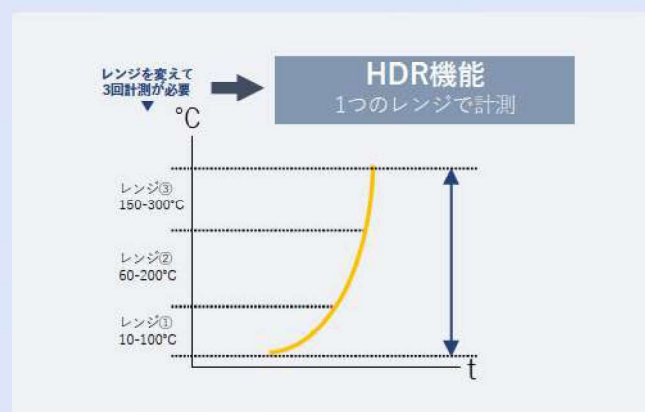


622ショット / 1秒
(高速モード使用時)

急峻な温度上昇も温度レンジを気にせず収録

HDR（ハイダイナミックレンジ）

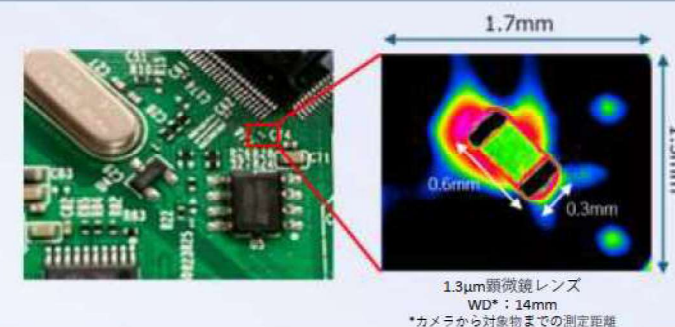
HDR機能を使用すると、複数の温度レンジを横断するため、
一度に常温～高温まで撮影が可能となり、測定回数を減らせる
ことにより、試験の効率向上に有効



小型化する電子基板や部品をミクロン単位で解析可能

1.3μm顕微鏡レンズ（オプション）

0.6mm×0.3mmサイズのサンプルも、
顕微鏡レンズを使えば 拡大して状態を確認することが
可能となり、微細部の故障解析に効果的

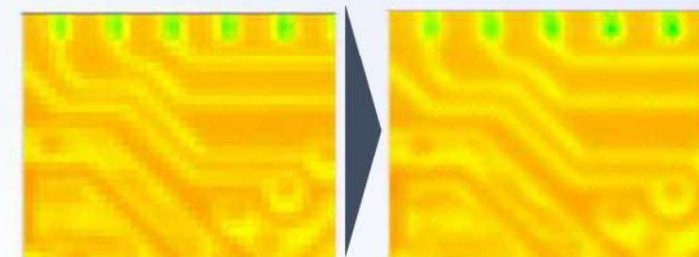


1.3μm顕微鏡レンズ
WD*: 14mm
*カメラから対象物までの測定距離

標準時と比べ 4倍の温度情報を表示

マイクロスキャン機能

標準時にズームすると荒くなってしまいう箇所も
4倍の画素数をもつ熱画像を生成する機能により
画質が改善するため、より微細な温度情報を
得る事が可能



標準時
(1280(H)×1024(V)画素)

マイクロスキャン使用時
(2560(H)×2048(V)画素)

収録に便利な4つのトリガ機能

いつ起きるかわからない温度変化を収録したい時や、
他設備と連動して収録したい時に役立つ

■ 検出器の外部同期

検出器の駆動タイミングを外部からのTTL信号と同期し信号の立上り
エッジにて検出器の画像更新

■ マーキングトリガでの画像保存

1回のトリガイイベント毎に指定したフレーム数の画像を連続取得

■ Gate機能での連続画像保存

Gate Inに入力したTTL信号がHi状態の間画像を連続取得外部同期信号に
より、画像取得の開始・停止することが可能

■ 外部機器用の同期信号出力

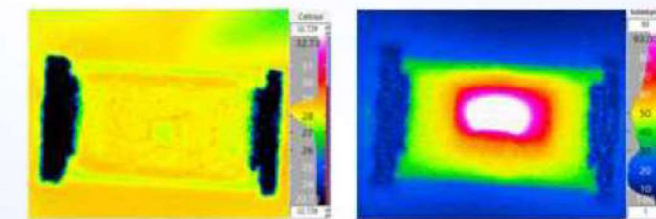
カメラ内部のフレームと同期する外部デバイス制御用のデジタル信号を
生成出力、他システムとの同期などが可能



マーキングトリガでの
画像保存イメージ

1mK以下の温度差まで検知が可能

ロックイン計測※で、実装基板のリークや内部クラックを
検出することが可能



分布だけでは確認できない

『内部部品の発熱』や
『内部欠陥』等が検出できる

※ロックイン計測とは

わずかな温度差をとらえることが可能なため、
通常の測定方法では拾いきれない異常温度を発見する計測方法

▶ 赤外線サーモグラフィ講座のオンラインセミナーを開催中！
詳しくはこちら

